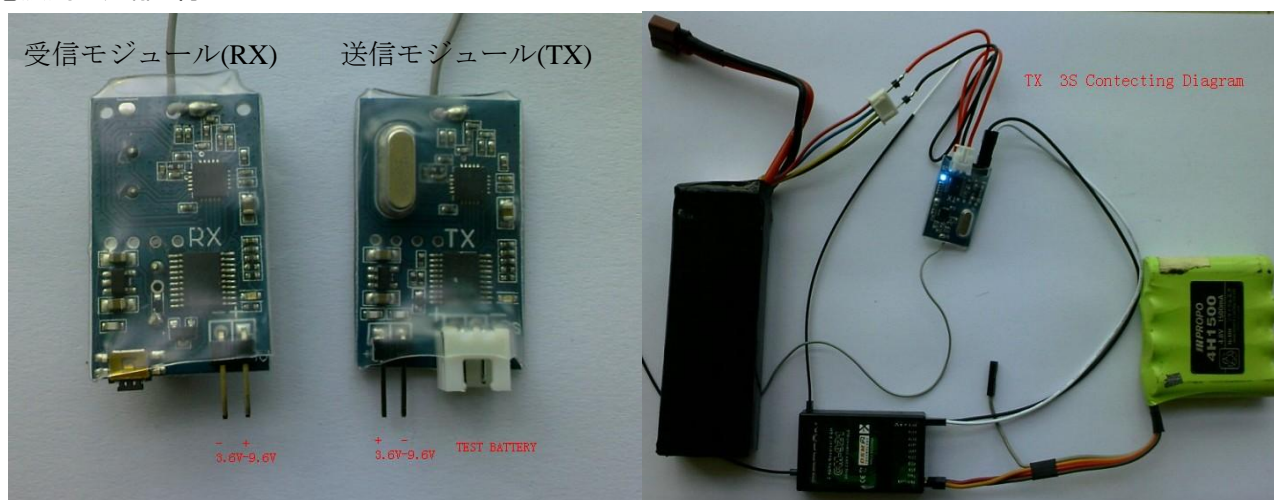
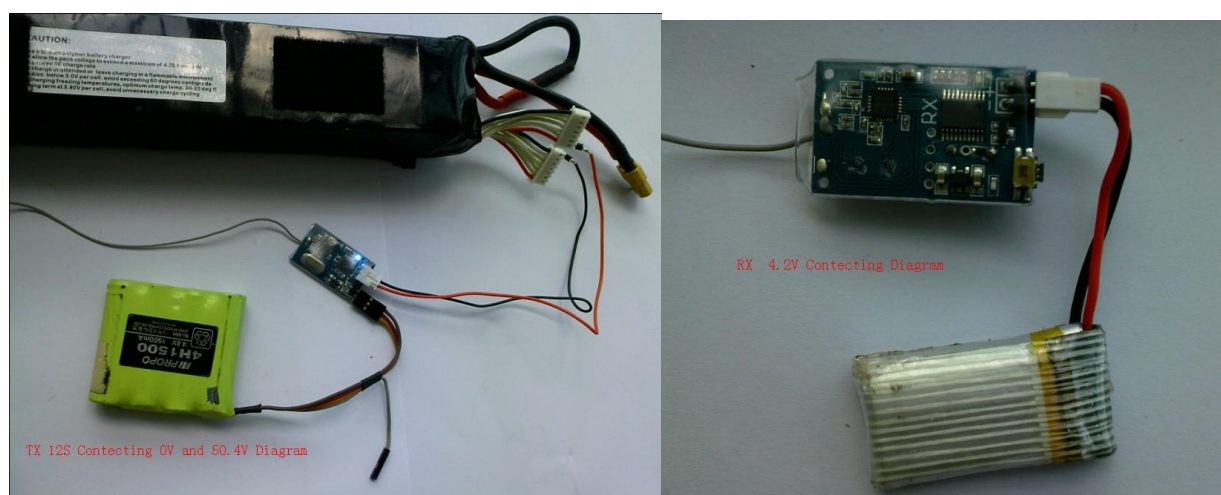
ボルテージアラーム取扱説明書

品番：DLD280
特徴：飛行中の動力バッテリー電圧が設定以下になると送信側（電圧受信機）にブザーで知らせます

設定電圧： 3.3V, 3.5V, 3.7V の三段階

スペック
送受信機作動入力電圧:3.7-9.6V
バッテリー電圧検査範囲：3.3V-50.4V（リチウムバッテリー 1S-12S）
重量: 片方 2g
アンテナ長さ：170mm
電波到達距離：約１０００m

右上の写真は送信モジュールを 12V(3S)バッテリーに繋ぐ指示図です。緑（5V）の電池は BEC の場合は不要です。

●上の写真は送信モジュールを 50.4v(12S)
BEC の場合は緑（5V）の電池は不要です。

●上の写真は RX 受信機に給電している
3.7V １セルリチウムバッテリーです。

警報値階段設定

1 、受信機の横にある小さなスイッチを押しながら、バッテリーを繋ぐと点灯します。

2 、スイッチを 1 回押して、'ビー' となったら、(1S の低圧階段は 3.3V) 設定

3 、再度スイッチを押して、'ビビ' と 2 回なったら、(1S の警防電圧値は 3.5V)設定

4 、再度スイッチを押して、'ビビビと3回鳴ったら、(1S の警防電圧値は 3.7V) 設定

5 、設定した電圧の段階で 3 秒と待つと、'ビ' と一回鳴って、受信 LED ランプがフラッシュして設定完了です。

※バッテリーの電圧が設定値付近になったら、警報します。.

設定と確認内容

1. 発信器(TX)を電源に繋ぐと LED ランプがゆくっりフラッシュします。
2. 次に 受信機(RX)を電源に繋ぐと同じく LED ランプがゆくっりフラッシュします。
3. 5 秒後、受信機(RX)から'ビー' と一回鳴ると、発信機(TX)の LED ランプが点灯し、受信機(RX)の LED ランプが早くフラッシュします。これで通信設定完了します。
4. 次に続いて受信機が' ビビ' と 2 回鳴ったら、通信と測定バッテリー電圧とも設定完了です。
5. **発信器LED点灯、受信機のLED点滅状態が警報待ち受け状態で正常です。**

使用手順

1. 発信器(TX)を機体の受信機やバッテリバランス端子と繋いでいる状態で機体のバッテリー電源を入れる
2. 警報受信機(RX)と3，7Vバッテリーをつなぐ
3. 'ビビ' と 2 回鳴って 警報待ち状態
4. 発信機(TX)がバッテリーの電圧を設定値近くになると、受信機から' BBBB…' の音が出て警報します。

包装リスト

発射モジュール(TX) 1 個、

受信モジュール(RX) 1 個

赤黒コード 1 本

デュポンコード 2 本